

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 全国高等学校ビブリオバトル岐阜県大会開催費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 県民文化局 文化伝承課 教育文化係

電話番号：058-272-1111 (内 3577)

E-mail: c11148@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 382 千円 (前年度予算額：306 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	306	0	0	0	0	0	0	0	306
要求額	382	0	0	0	0	0	0	0	382
決定額	382	0	0	0	0	0	0	0	382

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

令和2年3月に策定した「岐阜県子どもの読書活動推進計画 (第四次)」にもとづく子ども (おおむね18歳未満) の読書活動を推進する事業として、特に不読率 (1か月に1冊も本を読まない子どもの割合) が高い高校生を対象としたビブリオバトルの大会を実施し、不読率引き下げの一助とする。

広報物制作費について、広報課予算集約廃止に伴い、本事業で要求する。

(2) 事業内容

ア ビブリオバトル事前講習会

・高校生、教職員を対象に事前講習会を開催。

イ 高等学校ビブリオバトル県大会

・全国大会の予選となる県大会を開催。優勝者は全国大会に出場。

(3) 県負担・補助率の考え方

高校生に対する読書活動の推進を県として実施するために必要な経費である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
人件費	60	県大会講師、事前講習会講師報償費
旅費	88	費用弁償、業務旅費
需用費	150	消耗品費、会議費、印刷製本費
役務費	75	送料、保険料
その他	9	会場使用料
合計	382	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- 「子どもの読書活動推進計画（第四次）」の「基本方針4 読書から生まれた自分の考えを表現する機会の提供（1）子どもが参加できる読書に関するコンクール等の普及、活動の場、情報交流の場の提供」
- 「教育ビジョン」の基本方針3「未来を切り拓くための基礎となる力をはぐくむ教育の推進」目標13「豊かな人間性をはぐくむ教育の推進」における「取り組むべき主な施策：読書の推進」

(2) 国・他県の状況

- 国の「第四次子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」
「第2章 基本的方針 II 子供の読書活動に関する課題の分析と取組の方向性」には、「高校生の時期の子供は（中略）友人等からの働き掛けを伴う、子供同士で本を紹介するような取組の充実が有効である」と記載。
「第4章 子どもの読書活動の推進方策 V 子供の読書への関心を高める取組」で、取組として「書評合戦（ビブリオバトル）」が例示。
- 高校生の読書活動の現状について
 - ・国の「第四次子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」
「第3章 子供の読書活動の推進体制等 III 国の役割」で、高校生の不読率を、平成34年度に26%以下とすることを目指すと記載。
 - ・（社）全国学校図書館協議会ほかの「第65回学校読書調査」
高校生の不読率は 55.3%（令和元年 6 月調査。小学生 6.1%、中学生 12.5%）
- 都道府県大会は 47 都道府県で開催（令和元年度）

事業評価調査書（県単独補助金除く）

- 新規要求事業
 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
読書に関心がない生徒が、ビブリオバトルに参加することによって読書に親しみ、読書活動を通じて自分の考えを表現できるよう育成したい。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
ビブリオバトル実施 高等学校数		10校 (H30)		14校 (R1)	15校 (R6)	93%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 - (1) ビブリオバトル講習会
 - ・令和元年度 2回開催（参加者 51名）
 - ・令和2年度 2回開催（参加者 42名）
 - (2) 全国高等学校ビブリオバトル岐阜県大会
 - ・令和元年度 発表者 15名、観戦者 30名
 - ・令和2年度 11月21日に岐阜県図書館で開催予定

（前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
講習会ではビブリオバトルを実際にやってみる時間をとり、これまでビブリオバトルをしたことがない生徒に体験してもらうことができた。他の参加者が紹介した本を読んでもたくなかった生徒や、本を読んで大会に参加することを前向きに検討する生徒もおり、読書活動の推進の一助となった。
大会には15名の高校生が参加し、大会の様子は報道でも取り上げられ、ビブリオバトルが読書活動推進の行事として広がることが期待される。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	<p>岐阜県子どもの読書活動推進計画（第四次）に基づき、県としても子どもの読書活動推進に積極的に取り組む必要がある。また、ビブリオバトルは国の基本計画でも普及が望まれている取組の一つである。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	<p>ビブリオバトル講習会を受講した生徒のなかには、他の参加者が紹介した本を読んでみたくなった生徒や、大会への参加を前向きに検討する生徒もおり、読書活動の推進の一助となった。</p> <p>大会参加者からは、発表を行ってみたい、学校で実施したい、という声が複数あり、ビブリオバトルの浸透が見込まれる。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	<p>ビブリオバトル講習会を各地で開催することにより、大会への参加や各学校での取組みの実施につなげている。</p>

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>高等学校ビブリオバトル岐阜県大会を4度開催し、少しずつ事業が浸透している状況である。高校生の中で、また学校の行事としてビブリオバトルの取組みをさらに広げるためには、継続的な開催が必要である。</p>
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>学校行事としてビブリオバトルが行われる等、読書活動推進の方策の一つとしてビブリオバトルが浸透しつつあるため、今後も事業を継続する。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【○○課】
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	